



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成27年01月26日 第700号「週刊五十嵐レポート」

価値 = 資本の力 × 人の力

1月24日(土)、群馬県高崎市新町商工会主催のセミナー講師に招かれました。当初は竹田陽一先生に依頼しましたが、都合が悪く、竹田先生の紹介で私になったもの。当日、現地に早く着いたため、周辺を見物するべくタクシーに乗り、菓子工場へ連れて行ってくれました。

菓子工場に着くと、お城のような建物があり、工場兼店舗になっていました。店の中に入るとラスクで有名な「ガトーフェスタ ハラダ」の工場でした。タクシーの運転手によると、昔は普通のパン屋・お菓子屋にすぎませんでした。ここ10年で大きくなっていきました。

講演終了後、商工会職員に「ガトーフェスタ ハラダ」について資料をいただきました。2000年1月にラスクの販売を開始し、順調に売上を伸ばし、2002年、当時売上高3億円で1万3000坪の工場を約8億円の設備投資をしました(全額借金)。トップ(会長)は石橋を叩いて渡る慎重派で投資には反対でした。奥さんと娘の専務がラスクの将来性を信じて、トップを説得し押し切りました。その後も生産が追いつかなくなり、2004年、2008年と工場を増設40億円の設備投資をしました。売上高の推移は、2006年約10億円、2007年約20億円、2008年25億円、2009年50億円、2010年120億円、2011年160億円。

会長の言葉に、「ラスクで勝負を賭けると決めた時、50年以上続けたパンの製造をやめた。『地域一番店』の評価をいただいていたが、パンでは経営が立ち行かないことはわかっていた。新しいことは面倒だという気持ちもあった。あの時、パンに固執していたら、今はなかった」。

価値 = 資本の力 × 人の力(知識・技術、労働時間)

製造業の場合、「生産手段」として機械、設備、それらを設置する土地・建物が必要になり、在庫等の資本の力のウエイトが高くなります。戦略では強者の戦略で重装備になります。日本一のラスクを目指した設備投資でした。トップの決断で会社が大きく変わりました。

ちょっと
気になる出来事

悔しさが人を成長させる。

NHKのテレビで、サッカーの三浦和良氏(カズ)とスキージャンプの葛西紀明氏の対談の中で、今でも現役でいられるのは、三浦選手はワールドカップに選ばれなかったこと。葛西選手は長野オリンピック団体に選ばれなかったこと。2人とも悔しさが活力の源です。

日経新聞1月の私の履歴書は王貞治氏。巨人の監督をして5年目、優勝できず、解任。この世界は球団から契約しないとされれば、それまで。裏方さんたちが送別会をしてくれた帰りのハイヤーの中で、涙が止まらなかったと書かれています。

この悔しさが、福岡へ行って、ホークスを強くさせたのでしょうか。

(福岡でも卵を投げられた悔しさがありました)

私も生命保険での挫折が根底にあります。あれがあるから今があると。



一口メモ
知識

製品ラインを拡張する決定2

【上方拡張戦略】

市場の低級分野に位置する企業は、次の理由により、高級な分野へ参入しようとする。

フルラインのメーカーとして自らを位置づけようとする場合。

早く成長するためあるいは高い粗利益を得ようとする場合。

ラインを上方に拡張する決定にはリスクが伴う。まず高級分野に位置する競合他社が対抗措置として低級分野に参入する恐れがある。さらに、高級分野に適する品質の製品を生産する手段を持ち合わせていないと考える潜在顧客もいる。最後に、企業のセールスマンや流通業者が高級分野のニーズに応える能力、訓練が欠けている恐れがある。

フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング「新版 マーケティング原理」より

「新・経営の志手帳」発売中！(1,000円+税)

町コンランチエスター経営戦略塾 毎週日曜日 午前10時～12時。

町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

